

Android 伝言メモ 設定・再生トラブル対応チェックリスト Galaxyを例に解説

事前確認

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 325 202 369" type="checkbox"/>	利用端末がAndroidであり、伝言メモ機能に対応していることを確認した - 補足：端末の取扱説明書やメーカーサイトで、伝言メモ機能の有無を確認する
<input data-bbox="160 500 202 543" type="checkbox"/>	メーカー・機種（例：Galaxy）とOSバージョンを確認した - 補足：機種・OSによってメニュー名や表示が異なることを把握しておく
<input data-bbox="160 663 202 707" type="checkbox"/>	「電話」アプリのアイコンと位置を確認し、起動できることを確認した

伝言メモの基本設定

チェック	確認事項
☐	「電話」アプリを起動した
☐	画面右上の「メニューアイコン（縦にボタンが3つ並んだアイコン）」を開けることを確認した
☐	メニューから「設定」画面へアクセスできることを確認した
☐	「伝言メモ設定」メニューにアクセスできることを確認した
☐	「メッセージで自動応答」がオンになっていることを確認した - 補足：自動応答を利用する場合は「オン」、利用しない場合は意図的に「オフ」として管理する
☐	伝言メモに切り替える条件を「毎回」「バイブ／サイレント設定中に有効」「手動」から業務方針に合わせて選択した

伝言メモの基本設定

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 331 202 372" type="checkbox"/>	「毎回」または「バイブ／サイレント設定中に有効」を選んだ場合、着信から伝言メモに切り替わるまでの時間を適切に設定した - 補足：発信者が違和感を持たない程度の呼び出し回数（秒数）にする

動作確認

チェック	確認事項
☐	設定完了後、別の電話からテスト発信を行い、伝言メモが起動することを確認した - 補足：設定した条件どおりに伝言メモへ切り替わるかを確認する
☐	テスト発信時に伝言を録音し、伝言メモとして保存されることを確認した
☐	「電話」アプリの「履歴」画面を開けることを確認した
☐	履歴画面右上の「メニューアイコン」から「録音済み伝言メモ」メニューにアクセスできることを確認した
☐	「録音済み伝言メモ」リストからテストで録音した伝言メモを選択し、再生できることを確認した - 補足：音量・聞き取りやすさに問題がないかも併せて確認する

録音済み伝言メモの整理・削除操作

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 309 202 350" type="checkbox"/>	「録音済み伝言メモ」リストに保存件数が多すぎないか確認した - 基準・補足：スマートフォン本体の容量を圧迫しない範囲で件数を管理する
<input data-bbox="160 434 202 476" type="checkbox"/>	不要な伝言メモを特定するため、内容・日付・発信者などを確認した
<input data-bbox="160 550 202 591" type="checkbox"/>	「録音済み伝言メモ」画面右上の「メニューアイコン」から「編集」メニューにアクセスできることを確認した
<input data-bbox="160 669 202 710" type="checkbox"/>	削除対象の伝言メモのみを選択できていることを確認した
<input data-bbox="160 784 202 825" type="checkbox"/>	無関係な伝言メモを誤って選択していないことを再確認した
<input data-bbox="160 904 202 945" type="checkbox"/>	「削除」操作を実行し、選択した伝言メモが削除されたことを確認した - 補足：削除後、再度リストを開き、該当の伝言メモが表示されないことを確認する

録音済み伝言メモの整理・削除操作

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 311 202 354" type="checkbox"/>	伝言メモを削除すると復元できないことを理解している - 補足：「削除＝原則として元に戻せない」前提で慎重に操作する

トラブル発生時の基本確認（設定・容量まわり）

チェック	確認事項
☐	「伝言メモ設定」で「メッセージで自動応答」がオフになっていないか確認した - 補足：録音されない場合、まず自動応答がオンかどうかを確認する
☐	「伝言メモに切り替える種類」の設定が意図した状態（毎回／バイブ・サイレント時のみ／手動）になっているか確認した
☐	端末がサイレント／バイブモードの場合でも、設定どおりに伝言メモが作動しているか確認した
☐	「録音済み伝言メモ」件数が多すぎて、スマートフォンのストレージ容量を圧迫していないか確認した
☐	端末の空き容量（ストレージ）が不足していないか確認し、必要に応じて他の不要データも整理した
☐	機種やOSバージョンの違いにより、メニュー名や表示位置が異なる可能性を認識し、メーカーの公式サポート情報を確認した

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
☐	伝言メモ削除は原則として復元できないため、削除前に対象メモを必ず再確認する
☐	設定変更後は、必ずテスト発信で「録音されるか」「再生できるか」を実際に確認する
☐	メニュー名や位置は機種・OSによって異なるため、「似た名称のメニュー」で誤操作しないよう注意する
☐	録音件数が多い場合、端末容量不足の原因となるため、定期的に不要な伝言メモを削除する

※2025年12月時点の情報をもとに作成しています